

[25_03]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470208>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 25 (3), 1992-05-25. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：



編集後記

4月末でセンターを退職します。学生時代から興味があった計算機を3年間という限られた時間でしたが、いろんな事を学ぶことができました。最初の頃は、「2種の資格を取るぞ!」と張り切っていたのに3年間を楽しく過ごすことで一生懸命でした。センターのためには何もできなかった私でも、3年前よりは少しだけ成長したような気がします。何を得たのか具体的には思い浮かばないのですが、人生の中でのこの3年間を決して忘れることはないでしょう、というより忘れることはできません。最初から最後までわがままでしたが、それは正直者の私の素直な言語動作だったのです。迷惑をかけた皆さん、許してして下さい。本当に有り難うございました。

<ユーザのみなさまへ> 電話での応対時に、ユーザ自身急いでいる上、自分の思い通りに計算機が作動しない為、文句まじりに要領の得ない質問を受けることが多々あります。その為に、聞き違い、早とちりがあると思います。しかし、一生懸命答えようとする気持ちはユーザに伝わらないのです。時間がかかると、怒鳴るユーザもいます。おまけに「お前じゃダメだ!」なんて私をがっかりさせるというか、未熟さを思い知らされるというか、かえっていただちさえ感じます。お互いに快くやりとりする為に要領の良い質問を望みます。センター職員の知識もさまざまです。私のようにユーザより計算機の使い方がわかっていない者もいれば、この人なくしてセンターを運用および管理していくことができないという職員もいるのです。ユーザもこの辺を理解してもらいたいものです。

(T子)

風薫る5月、本当に新緑がきれいです。何処を見ても何かの花が咲いています。菖蒲、杜若、牡丹等、そして雑草に目を転じるとそこにもそれぞれカ一杯に春を謳歌する自然の草花。10センチから20センチほどのピンと伸びた茎の先に5ミリにも満たない小さな小さな水色の花、強風に吹き倒されてしまうのでは……と暫し心配して見ていましたが、右に左に風に吹かれながらも、ほんの一時風が止むと凜として大地に垂直にそれこそ真っ直ぐに立つのです。じっと見とれているとその花の存在がとても大きなものに見え、気品さえ備えているように感じられるのです。グラウンドの隅に6、7メートル程続く微かな水色の帯はさすがすがすがしい感動を与えてくれました。

ゴールデンウィーク、皆様どう過ごされましたか? 私は1日は前述の通りのんびりと自然の中で、2日目は久しぶりというか初めてというかゆっくりと「どんたく」を見物しようと「どんたく隊のパレード」を見てきました。マーチングバンド、各団体の踊り、各地のお祭の山車等が練り歩きます。周りには人、人、人。夕暮れには花自動車、そして花火、掃りがけに子どもが大好きな金魚すくい。下の娘は中学生ですが大の動物好きでお祭に行けば物心ついた頃から金魚すくいだけは必ずやっています。1年に何度か機会がありますのでその腕前は結構プロ級に近いと思います。今度も中洲河畔でその腕前を披露していたのですが、横でやってた子が何度やっても1匹もすくえない。見かねたお店のおばさんが「いいね、おばちゃんがするけんようと見よんしゃい、この紙は破れんようになつるとよ、ほら、こうやって斜めにいれて斜めに引き上げる」その度に金魚をすくって1分もしない内にボールの中には金魚が十数匹、ピンと張った紙は水に濡れただけで全然変化無し。何事にも達人はいるものですね。

とりとめもないことを書き綴ってきましたが皆様は「センター広報」のどの記事に必ず目を通されますか。先日のミーティングで読者の関心はどんな記事に……ということからアンケートをとってみては……という話が出ました。アンケートといえば回収率が問題ですよ。もしこの企画が実行された折には是非ご協力下さい。何ならその中に回収率はどれ位……という項目も入れてみて正解者には1年間センターを無料で利用できる特典を……なんて如何なものでしょう(不謹慎?)ともあれ一人でも多くの方に1ページでも多く読んで頂ければ……と願っています。

(S. A)